

やさか
八坂地区

面積：0.57km²
人口：5,129人（高齢化率 32.1%）
世帯数：3,214世帯

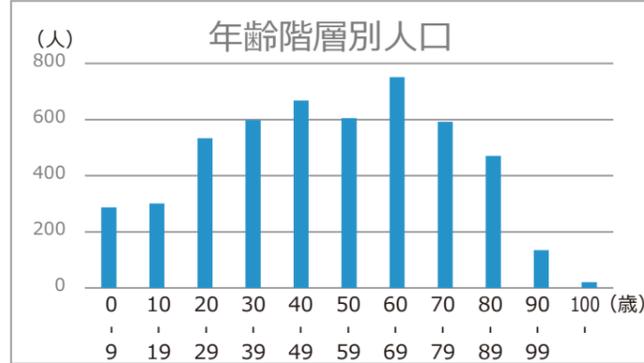


【地区の特色】

八坂の名の由来は京都の祇園神社にまで遡ることができる。明治 27 年 12 月 5 日に南八坂町に松山第 3 尋常小学校が開校し、持田や素鷲の方からも子どもたちが通っていた。この頃から通学区域を八坂校区と呼ぶようになった。現在の八坂校区には 30 の町がある。行政上の住所表示と異なり、昔からの町名の多くが残っているのがわが町「ふるさと八坂」。人々の交わり地方祭をはじめとする諸行事など生活上の様々な面で、今もそれぞれの街で昔からの強い絆を守りつづけている。



中の川通り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・松山市の中心部（街中）に位置し、飲食店などが多く存在している ・コンビニ、駐車場が多い ・デパート（大街道、銀天街）が近い ・サロン活動が活発 ・元気な高齢者が多い ・教育施設が多い ・市中心部にありマンションが増えている ・街中で蛍が見られる ・近所の子どもの顔が分かる ・子どもとの交流が多い ・高齢者の福祉施設が多い ・公民館と学校の連携が強い ・公民館行事が多い
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高い ・子どもがいる世帯が少ない ・交通量が多く危険 ・個人商店が少なくなり、スーパーが少ないため買い物が不便 ・市役所の支所がない ・個人商店が少なくなった
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者世帯の増加による見守りが必要 ・昔からの住民と新しい住民の交流が少ない ・マンション世帯との交流が少ない ・交通量が多く危険 ・子どもがいる世帯が少ない ・組織役員の後継者不足

八坂地区社会福祉協議会

気配りの種まき 福祉の芽が出る明るい八坂

構成団体	地区民協・公民館長・婦人会・高齢クラブ・町内会・小学校・PTA
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年 2 回、2,000 部を作成し、地域福祉に関する情報を発信するため全戸配布しています。
独居高齢者親睦会	外出の機会が少ない独居高齢者を対象に毎年 1 回、親睦会を開催しています。
配食サービス	毎年、3 月 3 日の春の節句に独居高齢者へちらし寿司を配布し安否確認等を行っています。

やさかちいきふれあいパーティー（年 2 回）

八坂小学校にて 1・2 年生の児童と地域の高齢者が昔の遊びやゲーム・クイズ、劇の発表などを通して、ふれあう機会となっています。また、給食も一緒に食べながら話が弾み、お互いの心に残る楽しく有意義な時間を過ごしています。



<地区社協が目指すもの>

八坂地区ではホタルボランティアの人たちが蛍を長年育てており、地区の夏祭りや小学校と公民館の合同運動会では、地域の各世代の人が八坂音頭を「みんな輪になり」で踊り継いでいます。八坂地区社協では高齢者が健康でいきいき活動し、これまで培ってきた緑豊かな自然や人の輪を大切に、少子高齢化の中でも子どもから高齢者まで世代を超えて見守り・支えられるよう元気で心豊かに生活できる八坂を目指していきます。

地区の状況	■ 地区民協 民生委員 主任児童委員	16 名 2 名	■ 町内会・自治会・区長会等	28 団体
	■ まち協の設立	平成 25 年度	■ 高齢クラブ	4 クラブ
			■ 子ども会	5 団体
			■ 自主防災組織	25 組織

市街化の進む自治体の多くは人間関係の希薄化への対策が課題となる中で、本地区では地区社協が中心となって活発な地区内交流が実施されています。中でも住民が近所の子どもの顔がわかるという環境は、生涯学習や防犯等の面において理想的な子育て環境を実現しているといえるでしょう。このように 40 地区の中で一番面積の小さな地区であることをいかして、地域と小学校が協働で行事が実施されるほか、小学校内のスペースで高齢者が定期的にサロン活動をするなど、世代間の交流が深まる機会が設けられています。これらの基盤となる交流活動を支える地区社協の役割は地区内でますます欠かせないものとなるでしょう。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

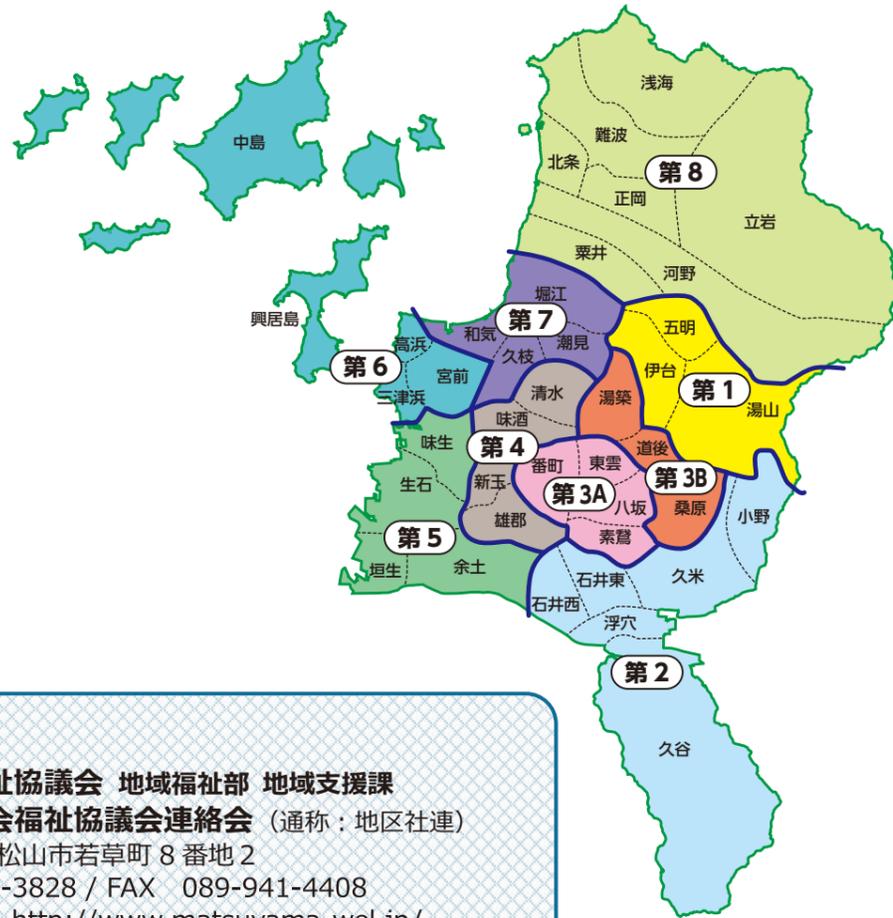
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏